

指定管理者モニタリングシート

【評価年度】 R7 年度

【１．施設概要】			
施設名	開成水辺スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	開成スポーツパートナーズ	現指定期間	R7.4～R12.3
【２．評価基準】			
《項目別評価》			
項 目			評 価
町の要求するサービス水準以上の成果がある			A評価
町の要求するサービス水準の最低限度を実施			B評価
町の要求するサービス水準に達していない			C評価
《総合評価》			
項 目	評価基準（項目別評価）		評 価
サービス水準が高い	Aが8割以上（A・Bのみ）		S評価
サービス水準が適正	Aが5割以上8割未満（A・Bのみ）		A評価
サービス水準が最低限度	Aが5割未満（A・Bのみ）		B評価
サービスの見直しが必要	Cが含まれる		C評価
【３．評価項目】			
《項目別評価》			
項 目	自己評価	施設所管課評価	
（１）事業運営			
①施設運営に関する基本方針が明確である	【 A 】	【 A 】	
②協定書、事業計画書に沿った事業運営がされている	【 A 】	【 A 】	
③長期計画等、町の施策方針に沿った運営がされている	【 A 】	【 A 】	
④緊急時対応マニュアルが整備されている	【 A 】	【 A 】	
⑤個人情報保護が徹底されている	【 A 】	【 A 】	
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載			
指定管理者自己評価 町民のニーズに合った提案や改善を行いつつ事業計画書に添って運営することができた。日々の業務を誠実に行い、公共性を十分理解し常に協定書を遵守し、公正公平に管理運営した。 接遇研修としては、今年度はビデオ講座を行い、スタッフが閲覧。トラブル時の対応等の理解に努めた。また、緊急時の対応については、迅速に対応できるようにマニュアルを作成している。			

施設所管課評価		
協定書、事業協定書に沿って適切に施設運営しており、開成スポーツパートナーズとして、町スポーツ事業への協力や自主事業の開催等、町民のスポーツ意欲の向上に努めた。 また、緊急時に備えたマニュアルが整備され、講習会も定期的を開催するなど対応ができていた。 令和８年度は集客及び収益増加につながる自主事業を行ってもらいたい。		
（２）施設管理		
①衛生的な施設管理がされている	【 A 】	【 A 】
②防犯・防災対策（設備）がされている	【 A 】	【 A 】
③備品の適切な管理がされている	【 A 】	【 A 】
④自然環境への配慮、緑化の推進がされている	【 A 】	【 A 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 利用者に清潔に利用してもらえるように園内のごみ回収・トイレ清掃や談話室内のテーブル清掃と行った。管理等周辺は定期的に季節の草花の植え替えを実施した。緑地管理の専門知識と経験を持ったスタッフと共に、芝地の管理や病虫害の防除や駆除、植栽の維持や剪定、枯損木の処理等、公園全体の緑化推進に努めた。		
施設所管課評価 季節の草花の植え替えを実施し、開成水辺スポーツ公園利用者満足度調査で、公園の植栽について、90%以上の方が満足をしていると回答している。 各点検業務については、適切な時期に実施がされ、町に報告があった。		
（３）利用者の満足度		
①町民に対する平等なサービス提供がなされている	【 A 】	【 A 】
②苦情・要望の把握・対応が適切である	【 A 】	【 A 】
③利用者等の評価が良好である	【 A 】	【 A 】
④利用者数の目標が達成されている	【 A 】	【 A 】
⑤地域社会等との連携が良好である	【 A 】	【 A 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 一部の団体に偏ったサービスはせず、すべての町民や団体が平等なサービスを提供できるよう運営した。利用者へのアンケートを行い、安全面を最優先に改善、修繕できることは迅速に対応した。中学の部活や自治会のレクリエーションでの利用は、今後は地域企業や自治会、教育機関となお一層連携して、新しい試みをしていく必要がある。		
施設所管課評価		

開成水辺スポーツ公園利用者満足度調査で、公園利用及びスタッフの対応について90%以上の方が満足をしていると回答しており、ケガ人や事故が発生した緊急時も迅速な対応がされている。

R7年度は、施設利用者の下げ止まりが落ち着いて、全施設利用者合計が103.3%の増となった。

今後も、施設利用者を増加させるために、次年度は地域企業、地域団体及び自治会と連携した事業運営を行うこと。

(4) コスト管理		
①適切な会計処理がなされている	【 A 】	【 A 】
②経費縮減への効果がある	【 B 】	【 B 】
③収支計画が達成されている	【 B 】	【 B 】
④財務診断結果	【 B 】	【 B 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 毎月、湘南造園経理部と連携し会計処理を行った。R7年度も小規模な修繕はスタッフで行い、消耗品購入はなるべく安価なものを探して購入し、日々適切な人員配置を行うなどして経費の削減を行ったが、利用収入が少ないため、計画に届かない状態となった。早急の対応が必要である。		
施設所管課評価 収入についてはパークゴルフ場を除く施設の利用料金が前年度に比べて減少した。パークゴルフ場の常設3コースの利用料は減少したが、パークゴルフ場の回数券及び富士見コースの利用料が増加した。 平日のグラウンド利用が少ないため、利用率向上や新規利用客を取り込めるような、積極的なPRや事業計画を実施する必要がある。特に猛暑日対策として営業時間帯の工夫を期待する。新たな事業に取り組んでいるため、次は、集客を考えた事業の検討を期待する。		
(5) その他		
①植栽の管理は適切に行われたか	【 A 】	【 A 】
②効果的な提案事業を行っていたのか。	【 A 】	【 A 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 緑地管理の専門家を持ったスタッフが日々植栽管理を行った。パークゴルフ場を利用してパークゴルフ初心者講習会、パークゴルフのペアマッチ大会を開催、GWや夏休みには水辺遊び隊、パークゴルフ自主大会やフリーマーケット等、集客アップにつなげるイベントを実施した。		

施設所管課評価 現地調査報告書のご意見の中に、植栽や芝生がきれいという意見を貰っている。 パークゴルフ無料招待やパークゴルフ大会などの企画提案があり、パークゴルフ人口を増やす工夫がみられた。 夏休み遊び隊、読み聞かせ会といった公園利用客につながる企画があった。残念ながら、これらの事業がどのような効果をもたらすのかといった戦略性が足りていない。 次年度は更なる集客及び収益アップをしっかりと意識して自主事業（イベント・大会）を実施すること。		
《総合評価》		
	【S】	【S】

【4. 評価・意見】
（1）指定管理者自己評価
①努力した点・成果等 サッカー場芝管理については、他の施設と比べ高い評価を受け、大変人気がある。 スポーツ公園としての観点だけでなく、大人から子供まで幅広い世代を集客できるような新たなイベントの企画を提案し実施。連休中の野球場無料開放やフリーマーケット等、継続していきたい。 パークゴルフでは、自主大会も定期的を開催し、利用者が喜ぶ参加賞など工夫を凝らし行って、集客力アップを目指した。
②改善すべき点 町制施行 70 周年イベントもあり、水辺の利用は、下げ止まった結果となった。しかし、パークゴルフ競技人口が年々減少している状況に加え、近隣のパークゴルフ場でも大会を定期的で開催し、コース整備の強化をして工夫しており、プレーヤーがコースを選択できる状況は続いている。『県内唯一の 3 コース』、『全国大会が開催されるパークゴルフ場』として他のパークゴルフ場との差別化を図ってきたところだが、現実には競技性を求めるプレーヤーの高齢化もあり難しい。ファミリーや若者のグループ利用も増えており、常連客を大切にしつつ新規層の取り込みのための新しい試みをしていくことが必要である。競技性を重視していたパークゴルフ人口が大幅に減少しており、若年層プレーヤーや壮年新規プレーヤーが繰り返し来園をしてくれるように工夫したい。 魅力ある公園を目指して、今後もインクルーシブ遊具の設置を協議して進めていく努力をしていきたい。
（2）施設所管課評価
①評価すべき点

利用者の要望や意見に耳を傾け、水辺公園の運営に反映をさせていた。開成水辺スポーツ公園利用者満足度調査において、9割以上の方に「満足」と回答していただき、利用者からも運営について高く評価をされている。 トラブルや事故などが発生した際に、速やかに適切な処置をしていた。また、その後、事故の再発を防止するために、注意書きを掲示するなどの対策を講じており、適切な公園の管理に努めていた。 季節の草花の植え替えを実施し、公園の景観の維持向上に努めていた。 自主事業については、パークゴルフ無料招待やパークゴルフ大会などの企画提案があり、パークゴルフ人口を増やす工夫がみられた。また、夏休み遊び隊、読み聞かせ会といった公園利用者が楽しめる新たなイベントの企画があった。
②指導すべき点 令和7年度の施設全体利用者は微増ではあるが、減少が止まった。ただ、今後とも継続的に施設の運営を行うため、新規利用客を獲得するための体験教室、大会及び企画、猛暑日対策として営業時間帯の工夫等で、現状を打破してもらいたい。 令和8年度は新たな自主事業の企画として、集客及び収益アップにつながる自主事業（イベント・大会）を開催してもらいたい。
【5. 総評】 施設の運営管理においては、高いレベルでの施設管理し多くの方に、利用していただいた。 令和7年度は全施設合計の利用者数及び利用者数が微増ではあるが増加した。 次年度は大学や高校、近隣のスポーツ施設や宿泊施設のPR、地域企業や自治会、教育機関となお一層連携して、新規利用者の獲得を期待したい。 また、新たな自主事業の企画として、集客及び収益アップにつながる自主事業（イベント・大会）を開催し、現状を打破して欲しい。